

教誨師連盟だより

No. 48

発行所
(公財)全国教誨師連盟

〒165-0026
東京都中野区新井3-37-2
電話 03-3389-7411
FAX 03-3387-3460
E-mail: zenren@soleil.ocn.ne.jp

理事会における総裁おことば

公益財団法人全国教誨師連盟 総裁 大谷 光 真

全国教誨師連盟の理事会にあたりまして、理事の皆様をはじめ関係の方々には、会場であります京都まで、ご足労いただきましてありがとうございます。

役員改選に伴い、新しく近藤理事長が就任をされました。その前の平野理事長時代には公益法人化問題で大変なご苦労があったと聞いておりますが、無事に発足することができました。

また本年は宗教教誨活動発祥の地であります名古屋で全国大会が無事行われました。非常に充実した、また刺激的な内容の講演を聴かせていただいたと思っております。今後も皆様のお力で全国教誨師連盟が運営され、各教誨師の方々の教誨活動がより充実していくことを願っております。

なお、私は先日、浄土真宗本願寺派門主を退任いたしました。一般論として申せばそれだけ時間の余裕ができるだろうということになります。どうもなかなかそうなっておりません。また、自分の人生の先を考えますとのんびりしてられない気がいたします。少しずつ仕事を絞っていききたい、あるいは削っていききたいという思いをしておりますので、ご理解をお願いします。

今日はありがとうございました。

理事長挨拶

公益財団法人全国教誨師連盟

理事長 近 藤 哲 城

日頃皆様には、公益財団法人全国教誨師連盟の活動に暖かいご理解とご支援をいただきまして、深く感謝申し上げます。

本年六月より平野前理事長から、連盟運営の大役をお引き受けいたしました。早、半年が過ぎました。副理事長や役員皆様のご助力をいただきながらの毎日でございます。

公益財団法人全国教誨師連盟の役割は、教誨師が、施設でより良い教誨が行えるようにサポートすることであると考えております。そのために法務省矯正局の幹部の皆様との意見交換会や社会に向かつての広報活動なども計画しています。これから教誨活動にご尽力いただきますと共に全国連盟の運営にご協力いただければ有難いことでございます。

◎広報委員会の設立について

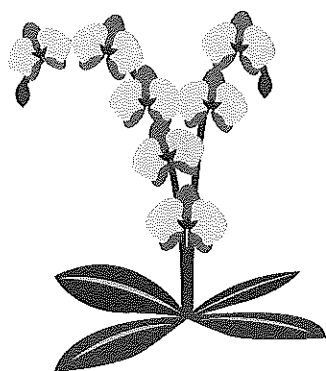
公益財団法人の実施する事業には不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与することが求められ、その事業運営に於いては透明性が確保されていなければなりません。また、「教誨」「教誨師」という言葉は十分に社会に認知されているとは言えない現

状です。教誨師の活動状況を積極的に広報し、社会的認知を得ることは円滑な教誨活動推進の一助となることと思えます。委員会を設置して具体的な方策を考えてまいりたいと存じます。

◎教誨マニユアル作成

平成二八年の全国教誨師連盟創立六〇周年に向けまして「教誨マニユアル改訂版」の作業が順調に進んでおります。「教誨マニユアル」が発行されて二〇年がたちました。内容的には素晴らしいものでありますが、法令が変わり、記載されている統計も古くなりました。施設でも、官民協働の「社会復帰促進センター」等の新しい取り組みが行われて、二〇年の歳月で大きな変革がございました。管区組織の中では教誨師の担当部署も三部から二部に移りました。こうしたことを踏まえましての新マニユアルの作成でございます。

今後も連盟の発展にご協力をお願いいたします。



平野前理事長の退任に寄せて

全国教誨師連盟事務局

本年六月一〇日の臨時理事会において、平野俊興師が理事長を退任し参与に就任されました。平野師には参与に就任後も諸事多忙を極めておられますことから、事務局から師のご功績の一端を紹介させていただき、そのご苦勞を労いたいと思います。

平野参与は平成二〇年二月一四日に理事長に就任されました。以来足かけ七年の長きに亘り全国教誨師連盟の発展に参与されました。この間における最大の業績は、何と言っても五年間という期間制限の中、三年目に公益財団法人への移行認定申請を行い、平成二四年四月一日付けをもって移行登記をすることができたことだと思います。移行により、当連盟の行う事業が「不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するもの」としての責任が、今後ますます増大するものと認識して活動していく必要があります。

加えて、税額控除対象法人としての認定も得られ、寄附者の方の負担の軽減が図られました。また、移行に伴い諸規定を整備しました。

以下、思いつくままにご功績を紹介したいと思います。

◎被收容者向けパンフレットの作成

矯正施設被收容者が教誨を受けようとする気持ちを起こさせ

ることを目的に、新たに被收容者向けのパンフレットを作成して各施設に配布し、教誨件数の向上に努めました。

◎教誨師委嘱のルール化及び「教誨師之証」発行

従前、各々であった教誨師委嘱を全国教誨師連盟理事長名で委嘱することに統一し、同時に身分証明書としても使用可能な「教誨師之証」を発行しました。

◎東日本大震災見舞金

平成二三年三月一日に発生した東日本大震災では多くの教誨師が罹災しましたが、復興費の一助となるよう見舞金を募り罹災教誨師に送りました。

◎矯正局との意見交換会

教誨師が矯正施設において教誨活動が円滑に行えるように、矯正局との意見交換会を定期的に行うこととしました。

◎教誨師マニュアル改訂版発行に向けて

現行のマニュアルは平成五年四月三〇日に編さんされたもので、時の移ろいに伴い監獄法及び少年院法の大改正に伴い関係法令の整備・改廃により被收容者に対する処遇内容も大きく様変わりし、教誨マニュアルの内容も時代の趨勢に沿った内容に改める必要があるとの認識に立ち、マニュアル作成準備委員会を編成し、改訂版の発行に向けての道筋を作りました。

以上、縷々ご功績の一端を紹介させていただきましたが、これからも当連盟の参与として、その豊富な知識と経験に基づくご見識により、連盟の発展にご尽瘁賜ればと願っております。

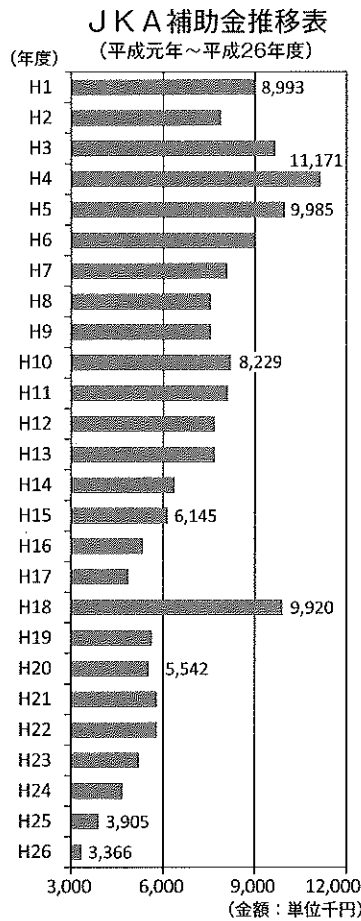
連 盟 本 部

連絡先 全国教誨師連盟
 ☎ 〇三―三三三―八九一七四一―

◎ JKA補助金について

公益財団法人JKAからの今年度補助金は、昨年度比一四%が減額され益々査定が厳しくなっています。昨年度にJKAから通知がありましたJKA補助事業審査・評価委員会及びJKA事務局からの所見について本年度は示されませんでした。補助金を受けての研修会は、JKA補助方針を踏まえての研修効果が目に見えるようになるための工夫が必要であることは従来と同様ですので、研修会企画立案に当たっては特に留意が必要です。

なお、補助金の推移についてはグラフのとおりです。



◎平成二五年度補助事業に係る二回目の自己評価(自己評価Ⅱ)の実施について

平成二五年度実施の研修会に係る自己評価Ⅱについて、「事前計画/自己評価書」を平成二七年三月から六月末までにJKAに提出する必要があることから、平成二五年度研修会終了後から平成二七年二

月末までを評価期間として、平成二七年三月以降速やかに評価委員会を開催し、二回目の自己評価を実施する必要があります。平成二五年度研修会実施担当施設にあっては評価委員会を開催し、評価委員会議事録を連盟事務局まで速やかに提出して下さい。

◎平成二四年度補助事業の確定について

平成二四年度補助事業については、本年五月八日付け26JKA企評第62号をもって確定通知がありました。

◎教誨マニュアルの改編状況について

教誨マニュアル作成委員会による改編作業会議は、本年一月一日で第一三回を重ね、執筆者に原稿依頼をするなど作業は順調に進んでいます。

企画において、「宗教教誨事例集」を別冊で製作する予定ですが、原稿につきましては教宗団から執筆者を推薦いただくことに加え、会員の方からも次の要領で公募します。

おって、掲載者につきましては薄謝を進呈いたします。

字数 五、〇〇〇～六、〇〇〇字 (含む図表等)

原稿締切り 平成二七年五月三十一日

教誨マニュアル作成委員会において、内容表現について修正することがあります。

執筆希望者は平成二七年一月三十一日までに

- ①氏名
- ②所属施設
- ③所属教宗派名
- ④教誨師としての活動年数
- ⑤教誨の対象者 (A、B、長期、女子、少年等)
- ⑥教誨の形態 (個人、グループ等)

を、全国教誨師連盟事務局までご連絡下さい。

なお、応募多数の場合はお断りすることがあります。

◎次年度以降二カ年間の全国教誨師連盟テーマの決定経緯について
決定テーマ「希望へ！」

平成二六年六月一八日、名古屋市で開催された第三五回全国教誨師大会に先立ち、全国教誨師連盟舎奈田副理事長と管区連盟の委員八名によりテーマ委員会が開催されました。

まず提出されたテーマ案について各委員が説明、その後、活発な議論となりました。

提出のテーマ案の文章の中から、共通する意味やニュアンスをもつ言葉が出ました。「心」「気付き」「いのち」等がありましたが、既に過去のテーマで度々扱われていきますので、省きます。「のぞみ」「希望」「目標」等が目新しいもので、前向きな精神性に関係する共通のニュアンスがあります。失望している被收容者、社会・施設の高齢化、教誨の辛さ難しさに苦しむ若手教誨師、教誨の現況には困難な問題が山積です。上から目線になっていないか、被收容者の心に届いているか、未来の事より、この現実こそ喫緊の課題ではないか。そうした意見もありました。しかし、そうした現実を踏まえて、前向きな可能性を示すこと、そうした共通の思いがテーマ案に通底していると理解できます。希望に満ちた明日を示したい思いです。

施設によっては具体的に「明日がない」方々があります。その方々に「希望」というのは酷ではないか、そのような意見もありました。しかし、人間の限界から更にその向こうの「往生」を指し示すことは、ある意味で宗教教誨の本領かもしれません。

テーマは、シンプルで長くしないこと、また、各管区各施設の事情が様々に異なるので、なるべく抽象的なものにするにとしました。こうして「希望」の語が残りました。漠然とし過ぎているとの難も指摘されましたが、諸事情に応じて具体性はサブタイトルに委ねます。

「希望」か「明日」か、と最後の言葉の検討がありました。二つの

言葉は意味的に重なります。しかし、平成九年〜一〇年のテーマに「明日をひらく」があり、そのため「希望」の語の方が選ばれました。更に、「希望」に意志的に「つなげる」のか、それとも「つながる」のか、希望に「なり得る」のか、「希望」だけでいいのか、侃侃諤々に議論しました。それくらい「希望」の語にはそれぞれの立場から様々な思いが反映します。だからいいのかもしれませんが。

被收容者も教誨師も「希望」へ向かう、過酷で困難な現況を踏まえ「希望」へ向かう、その強い思いを込め「希望へ」となりました。更に、それを強調して「！」を付け、「希望へ！」となりました。

(東京管区教誨師連盟 油谷弘幸)

◎個人情報保護法等の遵守に関する周知徹底について

本年九月二四日付け法務省秘個第一一五号により、法務大臣名をもって当連盟理事長宛てに「個人情報保護法等の遵守に関する周知徹底について」が通知されました。

ご存じのとおり昨今は、インターネット環境の普及により電磁的媒体によるデータのやり取りや情報の保管が頻繁に行われており、情報漏えいに対する危機意識を常に継続していく必要性があることは言を待ちません。

ついでには、管区連盟・県等教誨師会事務担当者におかれましては、セキュリティ確保のためのシステム・機器等の整備の措置を講じるなど、保有する個人情報の漏えい防止に特段の意を用いていただきますようお願いいたします。また、会員各位においては、教誨師会員名簿の取り扱いに特段の配慮をお願いします。

○当連盟ホームページアドレスが変わりました。

<http://kyoukaisaihi.server-shared.com/>

札幌矯正管区教誨師連盟

連絡先 札幌矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇一一七三―三九三六

一 研修大会

第五〇回札幌矯正管区教誨師研修大会(競輪公益事業振興補助事業)

(一) 開催日 平成二六年六月二四日(火)―二五日(水)

(二) 場 所 札幌全日空ホテル

(三) 参加者 約一二〇名

(四) 大会テーマ「いま、教誨に願われていること
―心に響く教誨をめざして―」

(五) 記念講演

「いま、教誨に願われていること
―心に響く教誨をめざして―」

映画監督 崔 洋一氏

(六) 基調講演

ア 講演者

北海道大学法学部准教授 中島岳志氏

イ 講演題

「いま、教誨に願われていること
―何をやってはならないのか―」

ウ 質疑応答

記念講演者 崔 洋一氏

基調講演者 中島岳志氏

コーディネーター

札幌矯正管区教誨師連盟副会長 宮本正尊師

二 理事会等

定例理事会

(一) 開催日 平成二五年一二月一三日

場 所 教化センター札幌別院

協議事項 平成二五年度活動・会計状況等

(二) 開催日 平成二六年三月七日

場 所 教化センター札幌別院

協議事項 平成二五年度活動・会計状況等

(三) 開催日 平成二六年六月二三日

場 所 札幌全日空ホテル

協議事項 平成二五年度活動・決算等

三 札幌矯正管区教誨師連盟役員

会 長 松本 哲朗(札幌刑務所教誨師会)

副会長 相河 孔明(月形刑務所教誨師会)

同 宮本 正尊(千歳教誨師会)

理 事 鎌田 正彦(旭川刑務所教誨師会)

同 小澤 眞了(帯広刑務所・帯広少年院教誨師会)

同 藤井 乘亮(釧路刑務支所教誨師会)

同 東 義真(網走刑務所教誨師会)

同 原 顕彰(函館少年刑務所教誨師会)

同 藤澤 正記(月形学園教誨師会)

[平成二六年一〇月一日現在]

仙台矯正管区教誨師連盟

連絡先 仙台矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇二二—二八六一三七—一五

一 研修大会

第五六回仙台矯正管区教誨師研修宮城大会（競輪公益事業振興補助事業）

開催日 平成二六年一〇月一六日（木）～一七日（金）

場所 仙台サンプラザ

参加者 教誨師九二名ほか

大会テーマ「いま、教誨に願われていること」

研究討議

討議題 「心に響くやすらぎの宗教教誨」

発表者 青森県教誨師会所属教誨師 照井大観

秋田県教誨師会所属教誨師 山口顕辰

福島県教誨師会所属教誨師 足立光枝

岩手県教誨師会所属教誨師 坂本広行

基調講演

「矯正医療の現状について」宮城刑務所の取組み

宮城刑務所医務部長 新妻宏文氏

二 定例理事会

(一) 開催日 平成二六年三月一四日

場所 仙台矯正管区会議室

(二) 開催日 平成二六年五月一六日

場所 仙台矯正管区会議室

(三) 開催日 平成二六年一〇月一六日

場所 仙台サンプラザ

三 仙台矯正管区教誨師連盟役員

会長 島地興霖（岩手県教誨師会）

副会長 井澤隆徳（山形県教誨師会）

理事 高山元延（青森県教誨師会）

同 伊達廣三（宮城県教誨師会）

同 菊池了邦（秋田県教誨師会）

同 中野重考（福島県教誨師会）

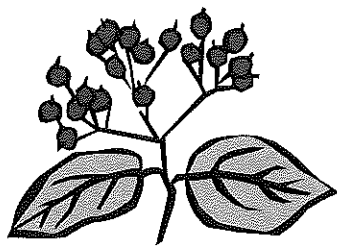
事務局長 徳力賢隆（宮城県教誨師会）

顧問 金平祖隆（福島県教誨師会）

監事 小野良孝（宮城県教誨師会）

同 信楽度（宮城県教誨師会）

【任期 平成二八年三月三一日まで】



東京矯正管区教誨師連盟

連絡先 東京矯正管区
教誨師連盟事務局
☎〇四八―六〇〇―一五二六

一 研修大会

(一) 第五八回東京矯正管区教誨師研修千葉大会 (競輪公益事業振興補助事業)

開催日 平成二六年六月二三日(月)～二四日(火)
場所 千葉県千葉市

参加者 アパホテル&リゾート東京ベイ幕張
教誨師・施設職員・来賓他三二三名

主 題 「いま、教誨に願われていること」
副 題 「求められる教誨をめざして」

全体研修会(施設別教誨実演ビデオ視聴)
分化会(施設別分科会)

①第一研修部会(発題施設 千葉刑務所)

座 長 千葉刑務所教誨師 宮崎 栄樹
助言者 千葉刑務所統括矯正処遇官 土橋 孝爾氏

②第二研修部会(発題施設 市原刑務所)

座 長 市原刑務所教誨師 吉田 晴雄
助言者 市原刑務所統括矯正処遇官 小川 均氏

③第三研修部会(発題施設 市原学園)

座 長 市原学園教誨師 半田 照匡
助言者 市原学園首席専門官 庄司 学氏

④第四研修部会(発題施設 八街少年院)

座 長 八街少年院教誨師 加藤 堯正
助言者 八街少年院首席専門官 山下 嘉一氏

(二) 第一二回東京矯正管区教誨師連盟新任研修会
開催日 平成二六年一月二七日(木)

場 所 さいたま新都心合同庁舎二号館五階

参加者 教誨師としての従事期間が五年未満の教誨師
主 題 「希望へ!」
副 題 「被収容者のいまに寄り添うために」
講 演 「矯正の現状と課題」
発 表 東京矯正管区第二部長 手塚 文哉氏
横浜刑務所教誨師 北條 祐勝
新潟刑務所教誨師 小林 明雄
長野刑務所教誨師 林 文映
静岡刑務所教誨師 林 文映

ジャクソン・信・フェイス
多摩少年院教誨師 町田 明夫

二 理事会・運営委員会等

(一) 会計監査 五月二二日(木) さいたま新都心合同庁舎二号館

(二) 定例理事会

第一回 五月二二日(木) さいたま新都心合同庁舎二号館

第二回 六月二三日(月) アパホテル&リゾート東京ベイ幕張

第三回 平成二七年二月一九日(木) 開催予定

(三) 運営委員会

第一回 五月二二日(木) さいたま新都心合同庁舎二号館

第二回 七月二五日(金) さいたま新都心合同庁舎二号館

第三回 一〇月一四日(火) さいたま新都心合同庁舎二号館

三 東京矯正管区教誨師連盟役員

会 長 近藤 哲城(川越)

副会長 木曾 隆(新潟)・和田 大雅(横浜)

同 遠藤 了義(千葉)・岩田 光哲(川越)

事務局次長 中川 文隆(府中)

事務局次長 竹岡 郁雄(八王子)・高岡 精司(府中)

監 事 宮本 賢昭(府中)・増田 廣神(水戸)

(平成二六年一〇月末現在)

名古屋矯正管区教誨師連盟

連絡先 名古屋矯正管区
教誨師連盟事務局
☎〇五二一九七一―五九八四

一 研修大会

第三五回全国教誨師大会（第五八回名古屋矯正管区教誨師研修大会
併催）（競輪公益事業振興補助事業）

（一）開催日 平成二六年六月一八日（水）―一九日（木）

（二）場所 ウエスティンナゴヤキャッスル

（三）参加者 教誨師ほか矯正施設関係者等

（四）大会テーマ「いま、教誨に願われていること」

サブテーマ「教誨の原点を問う」

（五）基調講演

演 題 「矯正の現状について」

講 師 法務省矯正局長 西田 博氏

（六）記念講演

演 題 「夜回り先生、いのちの授業」

講 師 教育評論家 水谷 修氏

（七）研修会

演 題 「いま、教誨の原点を考える

～刑事法研究者である一宗教者として～

講 師 中京大学法学部教授 平川 宗信氏

二 理事会の状況

（一）定例理事会

平成二六年五月二六日（月） 名古屋合同庁舎第三号館

（二）臨時理事会

平成二六年六月一七日（火） キャッスルプラザ

三 名古屋矯正管区教誨師連盟役員

会 長 石川 宣（愛知少年院）

副会長 林 精應（福井刑務所）

同 楠原 純孝（名古屋刑務所）

事務局長 加藤 通幸（名古屋拘置所）

理 事 川越 恒豊（富山刑務所）

同 松本 昌文（金沢刑務所）

同 木津 祐昌（福井刑務所）

同 河合 義雄（岐阜刑務所）

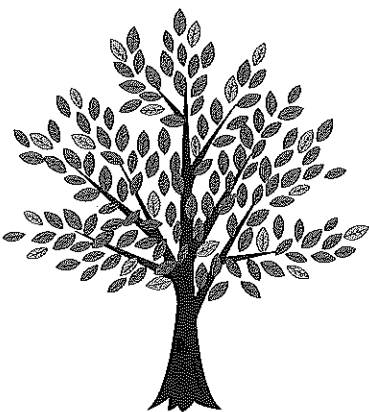
同 星川 佳信（三重刑務所）

監 事 榎 研治（名古屋刑務所）

同 稲生 隆信（富山刑務所）

同 田尻 和光（笠松刑務所）

〔平成二六年一〇月三一日現在〕



大阪矯正管区教誨師連盟

連絡先 大阪矯正管区
教誨師連盟事務局
☎〇六一六九四二一五七八九

一 第六二回大阪矯正管区教誨師研修大会について

(一) 開催日 平成二六年一月一八日(火)

(二) 場所 京都東急ホテル

(三) 参加者 教誨師・施設職員・他 二七五名

(四) テーマ 「今、教誨に願われていること」(メインテーマ)
「人は縁によって生まれ変わる」(サブテーマ)

(五) 内容

ア 式典

イ 表彰

ウ 講演

講題 「二度生まれについて」

講師 姜^{カン}尚^{サウ}中^{チュウ}氏
(聖学院大学学長・東京大学名誉教授)

エ 体験発表

「今、教誨に願われているもの」

上村 元 正 教誨師(姫路少年刑務所)

「人は縁によって生まれ変わる」

安部 隆 瑞 教誨師(滋賀刑務所)

「一期一会(いちごいちえ)のご縁」

高見 寛 信 教誨師(神戸拘置所)

「縁は異なるもの」

土井 克彦 教誨師(京都刑務所)

二 会議について

(一) 定例理事会

第一回 平成二六年六月一二日(木) 大阪矯正管区会議室

第二回 平成二六年一月一七日(月)

京都東急ホテル一階 鞍馬

(二) 研修テーマ委員会

平成二六年七月九日(水) 大阪矯正管区会議室

(三) ボランティアに関する委員会

平成二六年六月二日(月) 大阪矯正管区会議室

三 今後の予定

(一) 大阪矯正管区内教誨師意見交換会

平成二七年二月一四日(土) ザ・リッツ・カールトン大阪

(二) 第一〇回初任者研修会

未定

四 大阪矯正管区教誨師連盟役員について

会長 北畠 顯諒(大阪)

副会長 楠 秀峰(京都)・時久 忠夫(姫路少)

事務局長 松林 俊明(奈良少)

理事 治田 義行(滋賀)・前阪 良憲(滋賀)

同 井上 廣(京都医療)・寶來 正彦(大阪)

同 澤田 政泰(神戸拘)・岩崎 慶昭(奈良少)

同 阪口 隆俊(和歌山)・高木 欽恒(和歌山)

監事 高木日出喜(京都)・田中 瑞修(奈良少)

主事 脇屋 眞一(奈良少)・墨林 浩(大阪医療)

【任期 平成二七年三月三十一日まで】

広島矯正管区教誨師連盟

連絡先 広島矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇八二一―二三一八二五二

一 第四一回広島矯正管区教誨師研修大会（競輪公益事業振興補助事業）

(一) 開催日 平成二六年六月二六日（木）～二七日（金）

(二) 場所 松江東急イン（松江市）

(三) 目的 広島矯正管区の教誨師として、教誨活動を実施する上で、研修会を通して、共通認識としての教養を追求し、理解することで教誨に期待される実践的教誨活動に生かすことを目的とする。

(四) テーマ 主題「いま、教誨に願われていること」
副題「つなげよう心と心、描こうみんなの笑顔」

(五) 参加者 教誨師七一名・矯正施設職員等四九名

(六) 式典

(七) 基調講演 演題 「矯正の現状」

講師 広島矯正管区長 小林 泉氏

(八) 記念講演

演題 「心と心をひとつに―大阪教育大学附属池田小学校児童殺傷事件の教訓―」

講師 JA山口厚生連メンタルヘルス対策室長

坂井 譲氏

(九) 特別講演

演題 「銀・銅・鉄メダル―先人の遺産をどう生かす―」

講師 松江市政策部広報専門監 松本英史氏

二 会議の状況について

(一) 定例理事会

平成二六年二月二〇日（木）開催

広島矯正管区第一教室

(二) 定例理事会

平成二六年六月二七日（金）開催

松江市 松江東急イン

三 広島矯正管区教誨師連盟役員

会長 疋田英順（広島県教誨師会）

副会長 小林哲朗（島根県教誨師会）

事務局長 山根眞三（広島県教誨師会）

理事 櫻井宥祥（鳥取県教誨師会）

同 枝川円陽（岡山県教誨師会）

同 原真章（岡山県教誨師会）

同 土井一（広島県教誨師会）

同 吉木祥徳（山口県教誨師会）

同 岸康之（山口県教誨師会）

同 桑羽隆慈（山口県教誨師会）

主 事 高橋哲（広島県教誨師会）

同 奥村宏道（岡山県教誨師会）

同 佐藤元宣（広島県教誨師会）

高松矯正管区教誨師連盟

連絡先 高松矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇八七七八三三一八六一

一 平成二六年度高松矯正管区教誨師研修会について（競輪公益事業
振興補助事業）

(一) 開催日 平成二六年七月一七日（木）

(二) 場所 高松センタービル 大ホール

(三) 目的 矯正施設における宗教教誨の充実を図るために、
比較的経験年数の少ない教誨師を対象として研修
を行う。

(四) 参加者 教誨師三二名、来賓一〇名ほか

(五) 主 題 「いま、教誨に願われていること」

(六) 副 題 「共鳴する教誨をめざして」

(七) 日 程

ア 式典

イ 講演

演 題 「矯正の現状と将来像について

—『次の一〇年』に向けた取組を中心として—」

講 師 高松矯正管区長 重松 弘氏

ウ 実践発表会

テーマ 「収容者の教誨師への期待」

発表者 松山島刑務所教誨師 門田和明

テーマ 「被収容者とともに」

発表者 高松刑務所教誨師 北嶋 眞二郎

テーマ 「過去から学べること。」

発表者 松山学園教誨師 二神瑞隆

二 会議の状況について

(一) 各県教誨師会会長会及び臨時理事会

平成二六年三月七日（金）

高松矯正管区大会議室

(二) 定例理事会

平成二六年七月一七日（木）

高松センタービル 一〇〇五室

三 高松矯正管区教誨師連盟役員

会 長 長尾 恵 證（高松刑務所教誨師）

副会長 長谷川 嶽（高知県教誨師会長）

理 事 西村 宗 純（徳島県教誨師会長）

同 久保 博 巳（香川県教誨師会長）

同 松本 信 見（愛媛県教誨師会長）

同 小角 正 二（徳島刑務所教誨師会長）

同 北嶋 眞二郎（高松刑務所教誨師会長）

同 村上 義 英（松山刑務所教誨師会長）

同 藤山 憲 二（高知県教誨師会副会長）

同 藤井 隆 彦（丸亀少女の家教誨師会長）

同 加藤 親 平（四国少年院教誨師会長）

同 二神 瑞 隆（松山学園教誨師会長）

監 事 北村 清 治（徳島刑務所教誨師）

同 越智 憲 明（松山刑務所教誨師）

事務局長 田村 正 教（高松刑務所教誨師）

事務局員 堀江 孝 一（高松刑務所教誨師）

〔平成二六年一〇月三十一日現在〕

福岡矯正管区教誨師連盟

連絡先 福岡矯正管区
教誨師連盟事務局
〒〇九二一七七七一―九〇八一

一 研修会の状況について

今年度は、「施設研修会」を開催。

◎「第一九回福岡矯正管区教誨師長崎施設研修会」（競輪公益事業
振興補助事業）

①開催日 平成二六年一月一九日（水）～二〇日（木）

②会場 長崎刑務所（一日目）

諫早観光ホテル道具屋（二日目）

③参加者 教誨師九〇名・関係者一〇名

④大会テーマ「いま、教誨に願われていること」

サブテーマ「ふたたび罪を犯させないために」

⑤日程

第一日目

講演 「成人矯正の現状について（保護と教育）」

講師 長崎刑務所処遇部企画部門首席矯正処遇官

島崎史朗氏

施設見学

第二日目

講演 「人間性（恩赦の情）を通して」

講師 長崎刑務所教誨師 山口俊雄

講演 「更生保護施設 雲仙・虹の取り組みについて」

講師 更生保護施設 雲仙・虹施設長

前田康弘氏

二 福岡矯正管区教誨師連盟会議の状況について

◎定例理事会（各教誨師会会長・福岡矯正管区）

①日時 平成二六年五月一三日（火）一三時

②会場 本願寺福岡教堂（連盟事務局）

◎代議員会（管内教誨師会会員）

①日時 平成二六年一月一九日（水）一七時

②会場 諫早観光ホテル道具屋

三 連盟役員

会長 熊本義秀（福岡教誨師会会長）

副会長 後藤法龍（熊本県教誨師会会長）

理事 渡辺和弘（北九州地区教誨師会会長）

同 田中英康（佐賀県教誨師会会長）

同 吉谷大憲（長崎地区教誨師会会長）

同 堤暢之（佐世保地区教誨師会会長）

同 薬師寺哲雄（大分県教誨師会会長）

同 工藤海要（宮崎県教誨師会会長）

同 藤井純恵（鹿児島県教誨師会会長）

同 田中義弥（沖縄県教誨師会会長）

監事 眞壁義海（熊本県教誨師会）

同 黒田幸裕（北九州地区教誨師会）

代議員 各施設の代表者一八名

事務局長 川崎文丸（福岡教誨師会事務局長）

事務局員 藤春美穂（福岡教誨師会事務局員）

〔平成二六年一〇月三一日現在〕

浄土真宗本願寺派

連絡先 浄土真宗本願寺派社会部
☎〇七五―三七―一五―八一

○近況報告

浄土真宗本願寺派では、当派に属する教誨師・篤志面接委員等を会員として「浄土真宗本願寺派矯正教化連盟（以下、「本派矯正教化連盟」という。）」を組織し、宗門の矯正分野を担って各種事業を進めております。

本派矯正教化連盟では、平成三五年が本派教誨一五〇周年目となることから、「本派教誨一五〇周年に向けて、さらなる展望のもとに」を事業計画の目標として、平成二四年度から平成三五年度（四期一二年）までの中・長期計画を策定いたしました。その第一次中期計画においては、一年目に実務研修、二年目に新任研修、三年目に全国研修大会を開催し、会員一人ひとりの研鑽を深める学びの場を積極的に開放・提供するものです。

今年度は、全会員を対象に「第二〇回本派教誨師・篤志面接委員全国研修大会」を一〇月二三日から二日間、本山・西本願寺において開催いたしました。テーマを「心に響く」とし、言葉の大切さ・願いを伝えることについて、参加者・委員等を含め七八名が研鑽を深めました。

まず基調講演では、奈良少年刑務所の教育専門官で臨床心理士の竹下三隆氏に、「被收容者の心に響く教誨・面接 思いを話せるたった一人に出遭えたら、人はすぐわかる」をテーマにお話をいただきました。続いて行われた問題提起では、奈良少年刑務所・奈良少年院の教誨師・脇屋眞一師より、本派矯正教化連盟の中・長期計画について、

策定の経緯を含め、詳細な話をいただきました。その後、分科会が行われ、参加者から当面している状況について積極的な発言があり、活発に意見交換が行われました。全体協議会において、運営委員による総括がなされ、全国研修大会として実り多いものとなりました。

（今年度の主な事業）

○真宗大谷派との合同研修

この度、初めて宗派の垣根をこえて、矯正事情や今日の犯罪情勢を学び、課題を共有すべく、平成二七年一月二一日より三日間、台湾の台北で研修を実施することとなりました。

○矯正展の開催

平成一五年度から取り組んでおります本願寺境内施設における「矯正展」を今年度も計画しており、明年一月九日から宗祖親鸞聖人のご命日にあたる一月一六日までの「御正忌報恩講法要」期間中、キャピック展とパネル展という形で開催する予定です。

○機関誌の発刊

本派矯正教化連盟では機関誌『教誨通信』を年二回発刊しております。本年度は、第四五号を特集「教誨・面接こぼれ話Ⅱ」とする教誨・面接活動での体験談（「心に残ったこと」・「聞いてほしいこと」・「失敗談・成功談」）及び第四六号を全国研修大会の開催記録として発刊します。

○地方において

当派の定めております教区に「本派矯正教化連盟」の支部を設置しておりますが、その支部の相互連絡・連携を目的として矯正管区毎に「支部連絡協議会」を設けており、その「支部連絡協議会」主催のもと、管区毎に会員を集めて、研修会や協議会を実施しております。

真宗大谷派

連絡先 真宗大谷派教育部
☎ 〇七五―三七―一九一九三

真宗大谷派教誨師会の現況

一 第五六回「真宗大谷派教誨師会研修会」

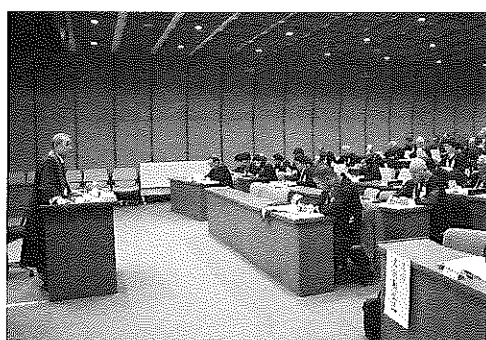
真宗大谷派の教誨師・篤志面接委員によって構成される真宗大谷派教誨師会（里雄康意会長）では、研修会を毎年実施している。

今年度は、五月八日から九日にかけて、第五六回真宗大谷派教誨師会研修会を「真宗の教誨―真宗の罪悪観」のテーマのもと真宗本廟（本山 東本願寺）を会場に開催し、全国から八〇人を超える教誨師会会員が参加した。

今年度の研修会は、「人間の「罪」の問題をいかに受けとめ、被収容者と出会っていくか」を中心課題として、「罪悪と教誨」の課題のもと九州大谷短期大学名誉学長 古田和弘氏による講義が行われた。

古田氏は「罪を犯した者がいかに救われていくかが、仏教の課題である」と語りかけ、『涅槃経』に説かれる「一切衆生悉有仏性」と「唯除一闍提」の矛盾命題の課題を取り上げる中で、「阿闍世が救われていくところには、釈尊を本当に信頼した著婆の存在が不可欠である。教誨師の立場は、まさに真実の教えに帰依している著婆にあたるのではないか」と提起された。

また、日程中には物故者追弔会並びに全体協議会などが行われたほか、三年を経過した東日本大震災の被災地の現状や宗派の取り組みを広く会員にも



古田 和弘 氏による講義

知っていたかどうかと、岡本学仙台教務所長による「東日本大震災語り部」と題した報告が行われ、ビデオ上映を取り込みながら、現地の状況や課題が伝えられた。
なお、委員の任期満了に伴う次期委員の選出及び副会長の互選が行われた。

二 真宗大谷派教誨師会役員（●印は執行委員）

- 会長 里雄康 意（宗務総長）
- 副会長 奥林 曉（教育部担当参務）
- 中村昌之（東京）
- 阿部正信（北海道）
- 新羅興正（山形）
- 新田格浄（東京）
- 萩山暢雄（高岡）
- 石川宣（岡崎）
- 星川佳信（三重）
- 治田義行（京都）
- 北畠顯諒（大阪）
- 墨林浩（大阪）
- 邨上了圓（山陽）
- 古賀裕法（久留米）
- 尺一賢正（熊本）
- 沙加戸明（京都）
- 栗田久子（大阪）

監事

【任期／二〇一四年七月一日～二〇一六年六月三〇日】

三 会報の発行

真宗大谷派教誨師会では会報『真宗教誨』を年三回発行しています。

天理教教誨師連盟

連絡先 天理教布教部福祉課
☎ 〇七四三一六三一―五一一

I 今年の動きについて

天理教教祖一三〇年祭が、平成二八年一月二六日に執行されるが、三年千日を仕切って教内あげて活動している。その中において、天理教教誨師連盟も天理教教誨師として、本部の主旨に沿って活動を展開している。ことに天理教教誨師としての資質向上を目指し、全国八管区単位で一堂に集い、「管区別ブロック研修会」を実施している。三年千日祭活動内に全管区で実施することになっていく。この「ブロック研修会」を事業方針の中心として、歩みを進めている。

II 今年の連盟の関係する事業報告

①おやさど研修会

平成二六年二月二五日 参加者七七名

講義 「現代の犯罪事情」

講師 吉田 修司 氏 (奈良県警察本部生活安全部)

ねりあい (協議会)

②教誨師連盟総会

平成二六年五月二五日 参加者五一名

平成二五年度事業報告、会計報告、平成二六年度事業計画、会計

予算、ブロック研修会報告・案内

ねりあい (協議会) ブロック研修会について

③全国教誨師大会 (ウエスティンナゴヤキャッスル)

平成二六年六月一八日〜一九日 参加者四三名

④「教誨師連盟だより」第一四号発行 (六月二六日)

⑤管区別ブロック研修会

・高松矯正管区

平成二六年五月二八日〜二九日

於 天理教愛媛教務支庁 参加者二八名

講演 「ハンセン病に生きて」(差別の心)

講師 西野ミエ子 氏 (天理教大島寄進会七代会長)

委員長講話 (井上 廣) 「教誨・面接を通して想うこと」

ねりあい・意見交換会

施設見学 (愛媛更生保護会「雄郡寮」、松山刑務所)

・東京矯正管区

平成二六年八月二八日〜二九日

於 天理教東京教務支庁 参加者三一名

講演 「教誨に望む」

講師 谷澤 正次 氏 (府中刑務所教育専門官)

委員長講話 (井上 廣)、ねりあい・意見交換会

施設見学 (東京拘置所)

・福岡矯正管区

平成二六年一〇月三〇日〜三一日

於 天理教福岡教務支庁 参加者三四名

講演 「子どもたちの居場所作りに関わって」

↳元総長のふれ愛義塾〜

講師 工藤 良 氏

(NPO法人TFG「田川ふれ愛義塾理事長」)

委員長講話 (井上 廣)、ねりあい・意見交換会

施設見学 (福岡刑務所)

⑥新任教誨師研修会 (篤志面接委員会含む)

平成二六年九月二五日 参加者二八名

⑦その他

天理教表統領より新任教誨師に辞令交付 (随時)

常任委員会・委員会開催 (随時)

曹洞宗教誨師連合会

連絡先 曹洞宗事務庁教化部布教課
☎ 〇三―三四五四―五五六〇

◎曹洞宗教誨師連合会について

曹洞宗は、各矯正施設に従事している、曹洞宗の教師を「曹洞宗教誨師」に任命し、その「曹洞宗教誨師」、および曹洞宗の教師である篤志面接委員を会員とする「曹洞宗教誨師連合会」（以下、当会）を組織しております。

当会の創立は、昭和三九年（一九六四）年で、大阪管区で開催された「第一〇回全国教誨師大会」を契機に組織され、現在の会員数は一五三名です。（平成二六年一〇月三一日現在）

当会の運営は、矯正管区毎に委嘱された理事を中心に行っており、当会の目的は、教誨事業の向上発展と、会員相互の緊密なる連繋と親睦を計ることです。その目的を達するために、教誨儀礼の研究、研修会の開催、懇談会（親睦）の開催などの事業を行っております。

また、研修会での講演を基にした講義録を作成し、会員に配布し、さらに新任の教誨師には当会作成の『曹洞宗教誨師マニュアル』を配布しております。

曹洞宗からは、教誨活動の補助として、教誨師、および篤志面接委員の教誨活動の状況に応じた補助金の支出をしております。

また、曹洞宗の月刊誌『禅の友』を、会員や希望される矯正施設へ配布しています。

さらには、教誨活動の一環として、坐禅の際に使用する坐蒲（坐禅用の丸い綿入りの座布団）やお経本などを、希望される矯正施設へ寄贈しています。

◎今年度の活動状況について

今年度は昭和三九年の創立から五〇周年を記念いたしました。去る四月一六日水曜日、一二時三〇分より、「曹洞宗教誨師連合会結成五〇周年記念大会」を、東京都港区芝にある東京グランドホテル三階桜の間を会場に開催いたしました。

佐々木孝一前宗務総長（当会前会長）導師による開会式の後、記念講演にはグライ・ラマ法王一四世を招聘し「『向きあう 伝える 支えあう』を語る」をテーマに講演を賜り、当日は曹洞宗教誨師連合会会員九一名、会員の同伴者一七名の参加、また会員以外にも多数の方々も聴講に訪れ、会場である桜の間は満席となり、好評を得ました。また当日は併せて、来賓として全国教誨師連盟理事長、近藤哲城様、同じく参与、平野俊興様、浄土宗教誨師会事務局長、堀芳照様をお招きしての記念式典も催され、小島泰道前教化部長（当会前副会長）導師のもと当会員の物故者法要や多年活動されてきた当会会員の記念表彰も行われ、当日のみの短い期間での大会ではございましたが、無事円成することができました。これも沢山の方々からの協力とご支援の賜でございます。この場をお借りして、改めて深く感謝申し上げます。

結成から五〇周年を経て、曹洞宗、および当会は現代社会において、教誨活動を重要な社会教化の一つとして捉え、被収容者の更生と、社会復帰の一助となるよう、引き続き更なる支援をしていく次第でございます。

神社本庁

連絡先 神社本庁教化部教化課
☎ 〇三―三三三三―七九八〇―一

一、組織

神社本庁では、独自の教誨師団体は組織してをらず、神社本庁統理の委嘱（三年一期）により各都道府県の神社庁に神社本庁教誨師が駐在し、教誨活動を行ってゐる。神社本庁教誨師は、各施設で教誨活動を行ふ他、年一回の教誨師事務報告書や教誨活動報告書等の事務を取り扱ってゐる。

教誨師全般についての事務は教化部教化課が所管してをり、教誨師の任命事項、教誨師からの報告書取り纏め等の事務をはじめ教誨師研究会、教誨師養成研修会等の関係諸会合を開催し、関係団体との折衝にあたつてゐる。

また、教化資材等を作成し教誨活動に資すると共に、それらを関係機関に寄贈して活用願つてゐる。

尚、東京都神職教誨師会、北海道地区神社庁駐在教誨師会（札幌矯正管区）、仙台矯正管区内神社本庁教誨師会（仙台矯正管区）、高松矯正管区内四国神社本庁教誨師会（高松矯正管区）がそれぞれ地元教誨師により自主的に組織されてをり、種々の活動を行つてゐる。

二、神社本庁教誨師研究会について

神社本庁では、昭和二五年より毎年、教誨師研究会を開催してゐる。本年は「犯罪学から見る被收容者の心理的特徴」を主題とし、

一月六日、七日の二日間、愛媛県松山市において開催された。

一日目は、ホテルJALシティ松山において行はれた。まづ国土

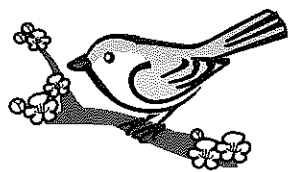
館大学教授・辰野文理氏より「犯罪学から見る被收容者の心理的特徴」と題して講演を戴いた。続いて全体会が行はれ、質疑応答・意見交換がなされ、充実した内容となった。

二日目には伊豫豆比古命神社での正式参拝と、松山刑務所の参観を行つた。松山刑務所では、施設運営の説明を戴き、その後施設内を見学をして、全日程を終了した。

三、神社本庁教誨師の養成について

神社本庁では、教誨師の後継者養成を目的とすべく、平成一九年より「教誨師補助員」の制度を設けた。教誨師になるべき人材を各都道府県神社庁長が教誨師補助員として委嘱し、各種会合にも参加を呼びかけてゐる。制度開始から本年までに八名が、教誨師補助員を経て教誨師として委嘱され活動してゐる。

また、本年二月には神社本庁において、平成二三年七月一日以降新たに教誨師に委嘱された神職、教誨師補助員及び各神社庁が推薦する将来教誨師となる神職、その他神社庁長が推薦する神職を対象に教誨師養成研修会を行ひ、二〇名が受講した。



浄土宗

連絡先 浄土宗教誨師会
☎〇三―三四三六―三三五一

浄土宗教誨師会は全国で一四〇余名を有し、七二施設で教誨に取り組んでいます。

組織としては、全国を北海道から九州までを八ブロックに分け、ブロック研修会を都道府県持ち回りで年一回開催しています。

また、浄土宗教誨師研修会として、毎年六月頃に八ブロックの一角所を回り、八年間で全国を一周する「浄土宗教誨師研修会」を一泊二日で開催しています。

一二月初旬には京都知恩院会場と東京増上寺会場で、隔年京都は教誨師会担当、東京は保護司会担当で「中央研修会」を毎年開催しております。

本年度の「浄土宗教誨師研修会」は、六月一日・二日・三日、札幌の「ホテルライフオート札幌」を会場に開催されました。

作家・成田智志氏の「監獄黎明期の教誨師たち」明治北海道の歴史をたどって」と題した講演、また新党大地代表・元国務大臣、鈴木宗男氏の「鈴木宗男の生き様」と題した講演を拝聴したほか、札幌刑務所の参観を実施しました。四二名の参加をいただきました。

ブロック研修会は、

・北海道地区 一二月一日～二日 「ホテル札幌ガーデンパレス」

浄土宗人権同和啓発講師 齋藤 哲全 師

NPO法人札幌マツク 住谷貴久乃 先生

・関東地区 五月二七日 「大本山増上寺」

丸 亀 市 教 育 長 中野レイ子 氏

・近畿地区

甲府刑務所教誨師 望月 充現 師
小田原少年院教誨師 松蔭 宣徳 師
五月一六日 「滋賀刑務所」

滋賀 刑 務 所 長 小沢 政治 氏

庶 務 部 長

滋賀 刑 務 所 教 誨 師 安部 隆瑞 師

・九州地区

七月一日～二日 「千代田館・佐賀少年刑務所」

佐賀県警察本部少年課課長補佐 桑原 宏樹 氏

肥前精神医療センター精神課医長 武藤 岳夫 氏

なお、東北地区、東海地区、北陸地区、中四国地区は現在未開催です。

一二月一〇日・一一日、京都・浄土宗事務庁を会場に、浄土宗保護司会との共催により、教誨師会担当で「中央研修会」を開催いたします。講師は京都医療少年院次長の上田智久先生で「京都医療少年院の現状と取り組みについて」、大谷大学文学部教授、滝口直子先生の「依存症について」の両氏にご依頼をしています。

総会は「浄土宗教誨師研修会」に合わせ、六月に開催いたしました。常任理事会は年二回、総会前の五月と一二月に、総会資料の確認と次年度の事業計画案、予算案を中心に審議しています。

理事会は、「浄土宗教誨師研修会」の午前中に会議を開催し、審議を願っています。

以上

日蓮宗

連絡先 日蓮宗教誨師会事務局
☎ 〇七〇―五六八〇―三四四七

日蓮宗教誨師会の活動

(一) 概略

日蓮宗では刑事施設に所属している二〇余名の日蓮宗教師の教誨師が全国組織（日蓮宗教誨師会）を結成し連携・研修・親睦を図っている。

日蓮宗教誨師会は宗門では全国社会教化事業協会連合会の連携団体・部会活動と位置づけられている。

各教誨師は全国の刑事施設に所属した教誨師であり、宗門から推薦を受けてものの、任命・委嘱を受けていない。宗門内で身分を明確にするよう、引き続き、働きかけていく。

(二) 平成二五年度の活動

- 1 平成二五年度 第四七回日蓮宗教誨師会総会山梨大会の開催
期 日 平成二五年六月六日・六月七日
会 場 石和温泉ホテルふじ（山梨県笛吹市）
講 演 「薬物依存という病―覚せい剤から目を覚まして」
講 師 山梨ダルクスタッフ 毛利学 雄氏
- 2 日蓮宗教誨師会執行部会の開催
- 3 日蓮宗教誨師会理事会の開催
- 4 日蓮宗教誨師会事務局会議の開催
- 5 日蓮宗教誨師会初任者研修の開催
- 6 社教関連七団体会長並びに事務担当者連絡会議への参加

- 7 宗団代表者との連絡協議会への参加
- 8 在京宗団代表者との懇談会への参加
- 9 平成二五年度 全国社会教化事業協会連合会総会・研修会への参加
- 10 第四八回 教誨師中央研修会への参加
- 11 表彰

(三) 活動費

会員の年度会費・宗門からの助成金によって賄われている。

(四) 方針

人心の荒廃・犯罪の凶悪化、多様化、低年齢化と高齢化、国際化、ネット社会に於ける犯罪の巧妙化、裾野のひろがりなど、現代社会は多くの問題を抱えている。

その中であって仏陀釈尊の教えである「皆共成仏道」「但行礼拝」などの慈悲の精神で教誨に取り組む。

より効果のある教誨を目指すため、各々の施設や教宗団と情報交換を図り、親睦を深め、積極的に協力をしていく。

「悉有仏性」の観点から被収容者に寄り添いながら、十分な反省を促し、各々の可能性を共に探り、前向きに生きる勇気を求め、与えていく。

より良い社会のための再犯率低下に資することも大切な目的である。

金光教教誨師会

連絡先 金光教教誨師会
☎ 〇八六五―四二―三一一

金光教教誨師会におきましては、教団の社会活動の一環として、現在六八名の教誨師が、五一カ所の矯正施設に出仕させていただき、年間七〇〇回余りの教誨活動を行っております。

平成二六年度におきまして、金光教本部を会場に三月四日～五日にかけて総会ならびに全体研修会を開催いたしました。

また、全国四つのブロックにおいて、それぞれにブロック研修会を開催し、教誨実施に関わっての問題点等の検討協議をはじめ、出席者による「ある日の教誨」や施設参観などを通して、教誨の資質の向上を図ってまいりました。

また、金光教の教師養成機関である金光教学院において、これから金光教教師として育っていかれる方々に、教誨活動への理解と、新たな教誨師の育成を願って二名の教誨師が出向し、ゼミナールを開催いたしました。

広報活動といたしましては、機関紙「教誨だより」を年二回発行し全教の教会に配布いたしました。

平成二七年度におきましても、活動の中心は相互研鑽に置き、三月五日～六日にかけて金光教本部を会場に、総会並びに研修会を開催し、教誨活動を充足させるべく各種協議を行うほか、講演並びに参加者による「ある日の教誨」を実施することによって、教誨師一人ひとりの教誨姿勢並びに教誨内容の充実を図ってまいりたいと思っております。また、その後四つのブロックにおいては以下のように研修会並びに施設の参観を予定しております。

第一ブロックにおいては、五月二七日～二八日にかけて仙台市において研修会。

第二ブロックにおいては、六月一六日に京都市にある金光教東近畿教務センターにおいて研修会。

第三ブロックにおいては、七月一六日～一七日にかけて岡山県下において研修会。

第四ブロックにおいては、七月六日～七日にかけて那覇市において研修会。

と、それぞれに研修会を実施いたします。研修会の内容としては、参加者による「ある日の教誨」の実施をはじめ、教誨実施上の各種問題点などについての意見交換、より効果のある教誨実施上の各種アイデアの交換などを、それぞれのブロックの実情に合わせて一日型、また一泊二日型にて実施いたします。

そのほかの活動としましては、年頭祈願祭を一五施設において執行し、また生神金光大神大祭、年末大祓並びに感謝祭、慰霊祭をそれぞれ一カ所ずつ執行させていただく予定にいたしております。

また、明年も金光教の教師育成機関である金光教学院において、教誨活動への理解とともに、新たな人材の育成を願う講習会の実施を予定いたしております。

そのほか、明年新たに計画いたしております行事といたしましては、一般の教宗団の代表者会議の中で出てまいりました、新人の教誨師の方々への研修を実施したいと考えております。このことにつきましては、新たに日程を設定してということとはなかなか難しい点もございまして、毎年本部を会場に開催しております、総会並びに研修会に引き続きという形で実施を考えております。

私どもは、金光教祖さまの「人の身が大事か、わが身が大事か。人もわが身もみな人である」、「天が下に他人というは無きものぞ」とのみ教えを大切に、平成二七年も教誨活動のご用を進めてまいりたいと思っております。

金光教教誨師会長 畔柳 俊雄

天台宗

連絡先 天台宗教誨師会
☎ 〇七七―五七九―〇〇二二

天台宗教誨師会の現況

天台宗教誨師会は矯正施設での教誨師並びに篤志面接委員である天台宗の教師を以て組織しております。会の発足は昭和四四年五月一日、現在三九名の会員が所属しております。

会の目的は天台宗の教義に基づき、矯正施設における教誨の充実と会員相互の研修・親睦をはかり、教誨師並びに篤志面接委員の養成にとめることであり、天台宗教義の近代化と実践、教誨経験の交流及び調査、会員相互の連絡、官庁並びに天台宗務庁及びその他関連機関との連絡協調などを課題として、年に一度、総会・研修会の開催を執行行っています。

また、宗内における教師並びに寺族の教誨活動理解に対する活動として『天台宗教誨師会々報』を発行いたしており、本年度の三月に第七号を発行いたします。

平成二六年度事業について

一、平成二六年度天台宗教誨師会総会・研修会

平成二六年度総会・研修会は五月二日～三日の日程で、群馬県渋川市内の会場にて開催いたしました。

一日目の総会では平成二五年度事業・決算報告、平成二六年度の事業計画・予算案の審議が行われました。また平成二七年度から天台宗祖師先徳鑽仰大法会が第二期を迎えるにあたり、天台宗教誨師会として記念事業が検討されました。総会後には会員による教誨事

例発表会を実施いたしました。教誨事例発表は平成二二年度からの試みで、本年度は開催県の教誨師である谷 晃昭師(前橋刑務所)が発表者を務めました。発表後には活発な質疑応答や意見交換が行われました。その後、懇親会を催し、会員相互の情報交換を行うと共に親睦を深めました。

二日目は前橋刑務所の施設見学を実施。刑務所職員より説明を受けながら収容施設及び作業施設を見学しました。天台宗教誨師会では教誨師の寺族の研修参加も認めており、本年も住職婦人が数名参加されました。今後も会員相互の情報交換や教誨活動に役立つ研修会を開催していきたいと考えております。

二、『天台宗教誨師会々報』について

会報は年に一回の発行で、平成二六年度号(第七号)は平成二七三年三月に発行予定です。平成二三年度より天台宗の広報紙、『天台宗報』に掲載しております。会報は会員からの寄稿を中心に構成されており、宗内の教誨活動理解を深めていければと考えております。

天台宗教誨師会役員紹介

会長	今出川 行 雲 (延暦寺)
副会長	藤 井 亮 俊 (兵庫)
同	小 山 健 英 (信 越)
理事	谷 晃 昭 (群馬)
同	浅 野 玄 航 (南 総)
同	野 中 玄 雄 (九州東)
監 査	桑 谷 祐 顕 (兵庫)
同	小 保 方 教 圓 (栃 木)

全キリスト教

連絡先 日本基督教団教誨師会
☎ 〇三―三三二〇二―〇五四一

全キリスト教教誨師連絡協議会報告

*全キリスト教教誨師連絡協議会(通称全キ)は、一九九八年第二七回全国教誨師名古屋大会で設立準備会がなされ、二〇〇〇年広島大会で、結成承認された。それから二年毎に、全キが開催され一六年の歳月が流れた。今回は、全連名古屋大会の一日目レセプションの後、総会・懇談会がホテル・マイシテイズで開催された。内貴会長のあいさつ、奨めに始まり、この二年間で、召天された教誨師を覚えて祈り、更に新任教誨師六名の紹介と祝福を祈った。更に現役員方の紹介などがあった。管区・地区の報告では、ジャクソン・信・フェイス師「許しと赦し」のあかし、エムス(南西ドイツ福音協会)の協力、「教誨師」の紹介、海外研修(韓国)のすすめなどがあった。全キの組織面(規約や経済...)は、今後幾多の課題を残しているが、少しずつ前進している感がある。御霊の一致をもって奉仕していくなら、幾ばくかの更生保護・教誨の働きに、反映されていくことを期待している。

*カトリックでは二〇一四年一月一四日―一五日、広島カトリック職町教会で「きづこう いのちの尊厳」をテーマに、刑務所、拘留所、社会復帰促進センター、医療刑務所で教誨をしている神父、シスターたちに、現場の紹介と、どのような教誨を行っているかを伝えてもらった。広範囲の人に頼んだため、広範囲から三七名の参加があった。

*また、東京矯正管区教誨師会は、法務省研修会の折、昼食囲みキリスト教の教誨師が懇談の時をもって。今回から全キの地区委員として、油谷弘幸師(カトリック東京大司教区/市原学園・市原刑務所、

府中刑務所教誨師)が就任した。

*九州キリスト教教誨師連絡協議会では、二月二四日―二五日、日本キリスト教団別府不老町教会で、「教誨の現場の現状」の主題で開催された(一名)。大分刑務所の施設見学もした。

*また、近畿キリスト教教誨師連絡協議会は二〇一四年七月一四日(月)―一五日(火) 滋賀県大津市、新近江別館で竹ノ内進師を講師、「被収容者と出所者との関わり方」(Ⅲ)を主題に開催した。現場で出所者や少年たちをお世話している三名の牧師の報告もあった。研修会后、滋賀刑務所を見学した。

各管区内で教誨師会が少しずつ、活動し始めている。

全キリスト教教誨師連絡協議会役員 鈴木 眞

(加古川学園教誨師、日本キリスト教団明石ベテル教会牧師)



全真言宗教誨師連盟

連絡先 全真言宗教誨師連盟
☎ 〇七三六一五六―二〇一一

○全真言宗教誨師連盟役員紹介

会長	伊佐榮豊	真言宗智山派
副会長	小池弘三	真言宗須磨寺派
同	和田大雅	真言宗御室派
幹事長	阿部眞猛	高野山真言宗
会計	岩崎法道	真言宗智山派
監事	麻生章雄	真言宗醍醐派
同	吉田正裕	真言宗御室派
事務局長	原豊壽	真言宗智山派

○全真言宗教誨師連盟 活動内容

全真言宗教誨師連盟会員数は現在一五六名にて、各矯正管区施設にて教誨活動を行っております。役員任期は二年で、各山より若干名の理事を選出いただき、理事会を構成しており、年二回の理事会と一回の総会及び研修会が開催され、事業や会計など審議しております。また機関誌『遍照』を毎年一回発刊しています。

○全真言宗教誨師連盟 第五四回大会報告

昭和三六年に全真言宗教誨師連盟が発足し、第五四回大会となる本大会では会場を京都の御寺泉涌寺にて平成二六年一〇月一六日、一七日と二日間にあつて開催いたしました。大会テーマを『諸悪莫作 衆善奉行』とし、一六日には総会並びに総本山御寺泉涌寺長老 上村貞

郎猊下による大会テーマ『諸悪莫作 衆善奉行』の講演を行い、翌一七日には落語家、露の都先生による『夢に向かって落語に生きる』という記念講演を行いました。

平成二七年には、第五五回大会を高野山において開催する予定です。

全真言宗教誨師連盟事務局長 原 豊壽



あとがき

◆『教誨師連盟だより』No四八号をお届けいたします。

◆季節の巡りは本当に早いものです。暑かった夏が終わり、つるべ落としの秋が過ぎると駆け足で冬の季節がやってきます。また一つ年をとったなあとつぶやきがついつい口をついて出ますが、去りゆく年に自分の年齢を重ねて感慨にひたる今日この頃です。先生方におかれましては日々尊いご活動に邁進されておられることと存じます。

◆本年六月には名古屋市において、第三五回全国教誨師大会が開催されました。その折りのテーマ委員会において、次年度から二年間のテーマは「希望へ！」と決まりました。本号にその決定経緯を掲載しましたので、研修会の企画に当たってご留意いただきますようお願いいたします。

◆私ごとですが、明年三月末日をもちまして教誨師連盟事務局主事の職を辞することになりました。五年という短い期間ではございましたが、この間、大過なくそれなりに職責を全うできたのも一重に先生方のご指導ご鞭撻の賜物と感謝いたしております。ありがとうございます。
(事務局 仲澤)